

今月の よかもん



会議所NEWSの編集担当職員が街で見つけた“よかもん”をご紹介します

博多織をもっと身近に、 作り手と市民の方々の コミュニケーションの場

今回訪れたのは、博多区奈良屋町にある「博多織ギャラリー」です！4月20日に、博多織会館の2Fにオープンしました！（運営＝博多織工業組合）

館内には、人間国宝の小川善三郎氏（故人）と小川規三郎氏親子の作品をはじめ、博多織工業組合が運営する「博多織DC（職人養成学校）」を卒業した若い職人さんの作品など、約350点もの作品が並んでいます！その中には、名刺入れやマスク、ブックカバーなど、日常使いできるものもあって、ここで購入できるとのこと。原田館長に聞くと、博多織工業組合に加盟する織元の様々な作品が一堂に会する唯一の常設ギャラリーだそうです！

中でも、私が気になったのは「おさけのきもの 博多織ボトルカバー」✨デザインが素敵で、ボトルカバー単体としての魅力はもちろん！中に福岡のお酒をいれて、遠方の方への手土産にもいいかも👍

博多織と聞くと、敷居が高く（高級なイメージだからなのか…）、私とは縁遠いものだと思っていましたが、日常使いの商品もあると知って驚きました😲私と同じように感じている方も、ここに来ると博多織に対するイメージが変わるのではないのでしょうか！入館無料なので、皆さんも「博多織ギャラリー」に気軽に立ち寄って、お気に入りの一品を見つけてみてはいかがでしょうか。



4/20 博多織ギャラリー
オープン！（入館料無料）



館内には、国指定重要無形文化財
の作品も展示されています！



「おさけのきもの 博多織ボトルカバー」
（5,500円/個・税込）



“博多織を身近に感じていただける場所を作りたい”と思ったことがきっかけで、「博多織ギャラリー」をオープンすることにしました。また、若い職人の作品はなかなかお披露目する場所がなく、このギャラリーに展示することでより多くの方々に見ていただけたらと思っています。

今後はこのギャラリーの一角を、博多織を使ったオーダーメイド家具の展示・商談会や異業種とのマッチングなど、作り手と皆さまとのコミュニケーションの場にしていきたいです。そして、780有余年の伝統を守りながら、時代に合わせて新しい博多織を作ってきたいです。日常の中で気軽にお使いいただける博多織の商品もご紹介しますので、まずはお気軽にギャラリーに遊びに来てください！

館長 原田昌行様
（博多織工業組合 副理事長）



博多織ギャラリー

☎092-409-5162
福岡市博多区奈良屋町5-10 博多織会館2F
<https://hakataori-gallery.jp/>
（営）10:00～17:00
（休）土・日・祝日
入館料：無料



ホームページ



※新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となっている場合があります。ホームページをご確認ください。